

No. 0056

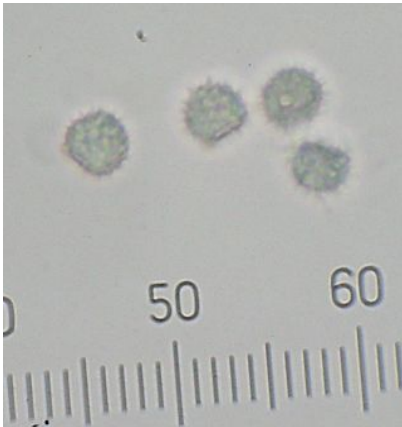
キツネタケ

Laccaria laccata (Scop.) Cooke f. *laccata*

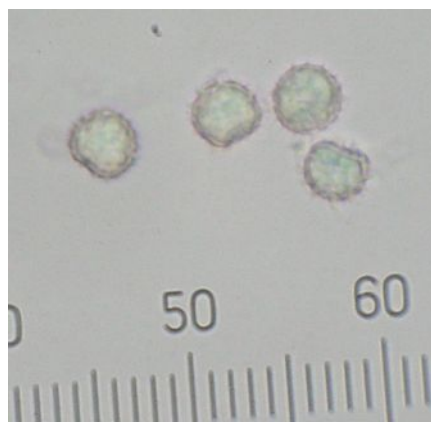




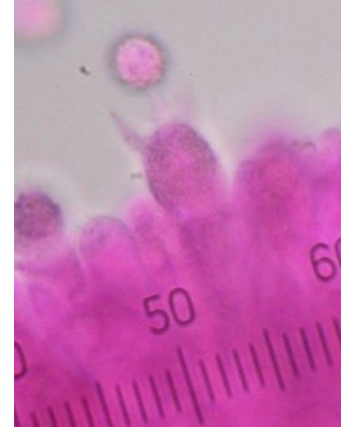




胞子



胞子



担子器

乾燥による鱗片タイプ



●傘は径 0.6-2.0cm,はじめ縁は内側に巻き,平らな饅頭形で中心は常に窪む;表面はやや繊維状～やや微細な鱗片状,吸水性があり,粘性はなく,湿時は条線があり赤茶色,乾けば条線は消えて淡肌色～淡橙色～帯赤白色.

●柄は 2.0-3.0×0.2-0.7cm,上下同径～下部で細くなり,偏圧されて窪んだり,ときに捩れ,中心生～やや偏心性,中実～中空;表面は繊維状,傘と同色で湿時は赤茶色,乾けば淡肌色～淡橙色～帯赤白色,白色の繊維を交える個体が多く,基部には白色の菌糸束がある.

●ヒダは疎,直生～垂生,幅 0.15-0.3cm,淡赤茶色,小ヒダがあり,全縁.

●肉は厚さ 0.05-0.1cm,傘・柄部ともに湿時赤茶色,乾けば肌色,質はわりと丈夫,変色性はなく,特別な味や匂いはない.

●胞子は球形でとげ状,大きさ 7-10 μm (内径).

●担子器は 4 孢子性.

採集日 2010年5月17日
採集場所 神戸市須磨区
採集環境 ウラジログシ・アラカシ・ケヤキ樹下のコケ上
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 KS0037,KS0038